

国保改善運動全道交流集会



2011年10月の集会の様子

高い国保料・税、そのため滞納世帯が増大し、差し押さえなどの制裁も増えています。
また、高い窓口負担のため、経済的理由で受診を控え、手遅れ死まで発生しています。
こうした下で、道内でも、住民の運動と自治体関係者の奮闘で、国保料の引き下げや滞納世帯への制裁を止められる取り組み、窓口負担の減免、住民本位の健康増進活動なども行われています。
国保問題を改善させるため、国保をめぐる情勢や課題を学び、各地の実態や取り組みを交流します。

記念講演 「国保をめぐる情勢と今日的課題(仮称)」

講師 長友 薫輝 氏 三重短期大学准教授

大阪府の門真市の国保実態調査などにも関わり、国保をはじめとした医療問題、社会保障分野の研究者です。

近著に『経済 2012年12月号』（「税・社会保障一体改革」のたたかい 国保 自己責任と助け合いからの脱却）など。



日時

2013年 2月23日(土) 9時30分～16時

場所

北海道高教組センター 大会議室 **参加費 500円**

(札幌市中央区大通西12丁目)

主催 2012年度国保改善全道交流集会実行委員会

北海道商工団体連合会 北海道生活と健康を守る連絡会、各地域社会保障推進協議会
事務局 北海道社会保障推進協議会 (電話 011-758-2648)